

リスクを知る 地震災害リスクを確認する

地震への備え

1 時に家具・家電等は地震動に揺れやすくなるので、しっかり固定する

2 震動が強い状態に陥ると、家具が倒れる危険がある

3 家具の固定状態を確認し、必要に応じて固定する

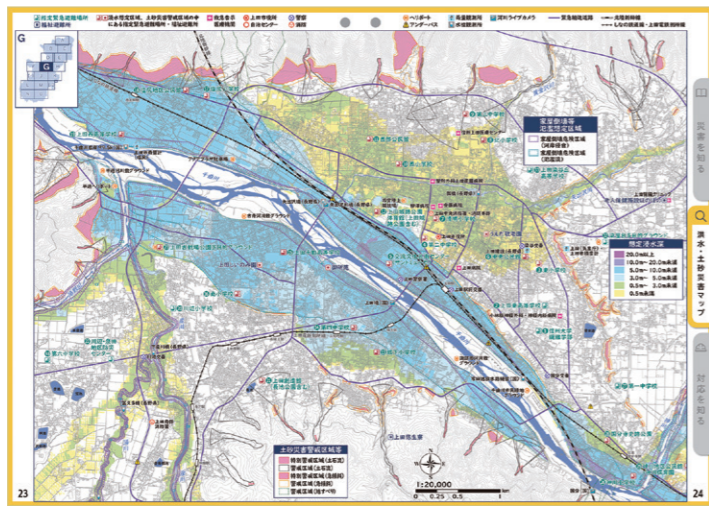
4 家具の固定状態を確認し、必要に応じて固定する

5 家具の固定状態を確認し、必要に応じて固定する

目録

目録

目録



災害対策で大切なのが「ハザードマップ」じゃ。自宅周辺の災害リスク、避難のタイミングや方法、災害への対応方法などを確認できる。皆、一度は必ず見ておくのじゃ！

今年3月に内容を更新したハザードマップを全戸配布しました。防災ポータルサイトからも確認できるほか、危機管理防災課で無料配布しています。

必ずご覧ください！

ハザードマップを



市防災ポータルサイト



関東大震災から100年

特集 今こそ考える「防災」のこと

今年は、1923年(大正12年)に発生した関東大震災から100年の節目にあたります。その発生日である9月1日が「防災の日」と定められているように、近代日本における災害対策の出発点となりました。今回の特集では、信州上田おもてなし武将隊 真田幸村公と一緒に、改めて「防災」について考えてみましょう。

※出典：気象庁ホームページ。写真は加工を行っています。 図 危機管理防災課 21・0123

地域の防災訓練の紹介

各自治会(自主防災組織)では、定期的に防災訓練を実施しています。6月18日(日)に、秋和自治会で防災訓練が行われました。



9:30 第一次避難場所開設準備

■ 要支援者/避難者リストなど情報管理の準備

■ 避難スペースの確保、パーテーションや仮設トイレなどを実際に設置

さあ、避難所を築くぞ！

避難所開設時に使用する資器材の取り扱いを実際に体験することが大切じゃ！



9:00 市が警戒レベル4避難指示を発令

■ 自治会災害対策本部設置

■ 災害対応チームによる危険箇所の巡回

秋和自治会では、全体のシナリオを決めない流動的な訓練を行った。現場からランシパーで被害状況を伝え、それに対して本部で対応を考える訓練じゃ！

秋和自治会では、4年前の令和元年東日本台風(19号)を契機に、マニュアル改訂や防災用資器材の確保のほか、消防団OBによる「災害対応チーム」を設置するなど、自主防災組織の機能強化を図りました。災害時、被害を最小限に抑えるためには、地域みんなで守る「共助」の取組が必要不可欠です。「逃げる場所がない」と嘆くのではなく、「どうやって逃げようか」と前向きに捉えることで、地域の防災意識の向上に努めています。



秋和自治会長 田中 穂積さん

日頃から災害に備えることは肝要ぞ。私が解説いたそう。皆の衆、出陣じゃ！



※1 上田市が発令

警戒レベル	状況	取るべき行動	上田市が発令する避難情報等
5	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	緊急安全確保
4	危険な場所から	全員避難	避難指示
3	危険な場所から	高齢者等避難	高齢者等避難
2	避難に備え、ハザードマップなどで	避難行動を確認	—
1	最新の気象情報に注意するなど	災害への心構えを高める	—

※2 気象庁・国・県が発表

警戒レベル	相当	気象庁が発表する防災気象情報	管理する国・県が発表する指定河川洪水予報	気象庁が発表するキキル危険度
5	相当	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害切迫
4	相当	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報	危険
3	相当	洪水警報 大雨警報	氾濫警戒情報	警戒
2	相当	大雨注意報 洪水注意報	氾濫注意情報	注意
1	相当	早期注意情報	—	今後の情報等に留意

マイ・タイムライン

マイ・タイムライン作成の流れ

1. 災害発生時のタイムライン

2. 災害発生時のタイムライン

3. 災害発生時のタイムライン

4. 災害発生時のタイムライン

5. 災害発生時のタイムライン

警戒レベルとは、上田市が発令する避難情報のことです。市は、気象庁・国・県が発表する左ページの図のような警戒レベル相当情報※2や今後の雨の予想、日没時間、消防団や市民からの情報をもとに避難情報を発令するかどうかを判断します。

大雨警報などの警戒レベル相当情報※2が発表されていても、市から避難情報※1が発令されるとは限らないということじゃ。

ただし、いつ避難情報が発令されてもいいように、非常持出品や避難経路の確認をしたり、周囲の状況を見て危険だと判断したら自主的に避難する必要があります。自分がどのタイミングで避難したらよいか、事前に「マイ・タイムライン」を作成して決めておくとよい。「マイ・タイムライン」はハザードマップ71・72ページで作成できるぞ！

警戒レベルとは？

令和5年度 上田市防災訓練

防災関係機関との連携体制の強化を図るため、総合型の防災訓練を行います。一般の方も見学できるほか、地震体験車や自衛隊・警察車両などの展示、煙体験や水消火器体験などの各種体験ブースもあります。ぜひお越しください!



市ホームページ

9/2(土) 9:30~11:30 【場所】武石総合グラウンド、武石体育館

○防災関係機関との連携による訓練

災害現場からの救出訓練、ライフライン復旧訓練、消火訓練、ドローンによる被害状況調査訓練、炊き出し訓練、地域住民によるペット同行避難訓練など

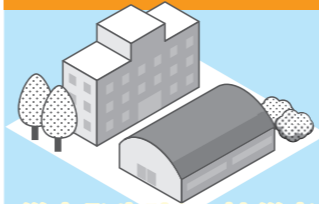
○各種体験・展示ブース

地震体験車、自衛隊・警察・消防車両展示、煙体験、水消火器体験、AED体験、段ボールベッド作成体験、避難所での滅炎体験など



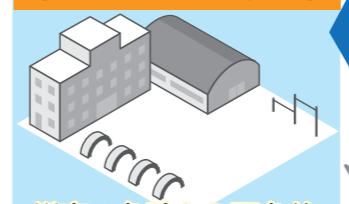
※お車でお越しの場合は武石小学校駐車場または武石地域自治センター周辺駐車場にお停めください。※雨天などで中止の場合は市メールでお知らせします。

指定避難所



災害発生時に、被災者が一定期間滞在することができる施設

指定緊急避難場所(第二次避難場所)



災害の危険から緊急的に避難し、身の安全を守るための場所(施設)

第一次避難場所



自治会が指定した施設

災害規模の拡大

小規模災害

避難場所の受け入れ地域は限定していません。災害時を想定して、身近な避難場所と避難経路を確認しておきましょう。

避難所の種類は?

避難所の種類は3種類ある。第一次避難場所は自治会が開設して、指定緊急避難場所、指定避難所は市が開設をするのじゃ!



よい訓練であった。あつぱれじゃ! 日頃からの情報収集手段の確認と、非常持出品の準備が大切じゃ! 災害はいつ起こるか分からないからこそ、普段からの備えが重要となる。被害を完全に防ぐことは難しいが、被害を少なくすることは簡単にできようぞ。皆の衆、ハザードマップを活用して、もしもの時に備えるのじゃ!



11:00 避難指示解除



10:30 第一次避難場所開設



10:00 自治会広報車による巡回(避難の呼びかけ)

消防団OBなどで組織された「災害対応チーム」を中心に、災害時の危険箇所のチェック、土嚢などでの予防対策、災害時に出動する広報車の訓練



一緒にやろう! シェイクアウト訓練(一斉防災行動訓練)

【日時】9月2日(土) 9:30~
【訓練想定】市内で最大震度7の地震が発生
【実施方法】市メール配信サービスにより、9:30に訓練開始を伝達



市メール配信サービス

- ① その場でしゃがみ、まず低く(ドロップ)
- ② 机の下などに潜り、頭を守り(カバー)
- ③ 揺れが収まるまで、動かない(ホールドオン)

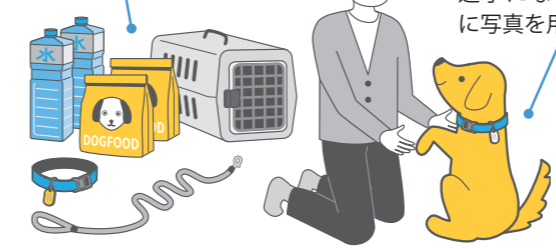


提供: 効果的な防災訓練と防災啓発提唱会議

ペット用非常持出品
食べなれたフード、水、薬、ペットシート、ゴミ袋、首輪、リード、キャリーバッグなどを用意しておく

普段からのしつけ
ゲージなどに入る訓練や、人に慣れさせておく

迷子対策
首輪や迷子札をつけ、迷子になった時のために写真を用意しておく



※身体障害者補助犬(盲導犬、介助犬、聴導犬)はペットの扱いとは異なり、避難所の中に入ることができます。

避難所へはペットと一緒に避難することができます。ただし、避難所の中には動物が苦手な人やアレルギーを持った人もいます。他の避難者への配慮が必要になる。多くの避難所では、施設の外などにペット専用のスペースを設けて対応することが多いのじゃ!

ペットとの避難

